

講 義 要 項

授業科目	老年看護学援助論 I			担当者	吉満 梨奈
区 分	単位数	時間数	授 業 形 態	履修年次・前/後	
	1 単位	15 時間	講義・演習	2年次・前期	
授 業 目 標					
1. 高齢者の健康維持増進、QOLを高めるためのアセスメントの基本を理解し、生活機能を整える援助の方法を理解できる。					
単元名	目 標	内 容	時間	単位	授業方法
1. 高齢者のヘルスアセスメント	1. 高齢者のヘルスアセスメントの基本が理解できる。	1. ヘルスアセスメントの枠組み 1) 身体的健康のアセスメント 2) 生活の自立状態のアセスメント 3) 心理・社会的健康のアセスメント 4) 環境のアセスメント 5) 生活史のアセスメント 2. 高齢者総合機能評価 3. 身体に加齢変化とアセスメント 1) 皮膚 2) 感覚器 3) 循環器 4) 呼吸器 5) 消化器 6) ホルモン系 7) 運動器系	6		講義
2. 高齢者の生活機能を整える看護	1. 高齢者の生活機能を整える看護が理解できる。	1. 日常生活を支える基本的活動 1) 起き上がり・座位・立ち上がり・立位の保持 2) 日常生活活動の評価 3) 転倒のアセスメントと看護 4) 廃用症候群のアセスメントと看護 2. 高齢者の食事・食生活 3. 高齢者の排泄ケア 4. 高齢者の清潔ケア 5. 高齢者の生活リズムを整える看護 6. 高齢者の状態・状況に応じたコミュニケーションの方法 7. 高齢者のセクシュアリティへの支援 8. 高齢者の社会参加	8		演習 講義
		修得試験	1	1	
参 考 文 献 等	1. テキスト：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学，医学書院。				
評 価	1. 単位修得試験・出席状況・課題提出状況・演習態度				
備 考	実務経験：看護師としての豊富な知識・経験をもとに授業を行う。				